

◎政策決定のプロセスを  
共通認識すべき

問 重要政策の決定については、内部調整はもとより市民も共通認識すべきであるが、どのように行っているのか。

答 政策案は、部内・部長・調整会議で調整し、作成している。市民への共通認識を図るため情報発信し、共有化に努めていきたい。

◎広域行政の考え方は

問 病院は掛川市と、消防は磐田市・森町と広域化しようとしているが、広域行政の基本的な考え方は。

答 特定の枠組みで固定するのではなく、両方との関係を深めていく必要がある。病院は、建て替え時期があり掛川市と、消防は、設備など共通性のある磐田市・森町との広域化を考えている。

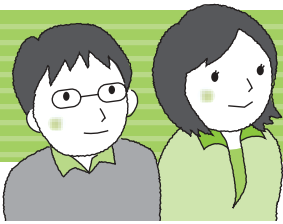
◎緊急地震速報の導入は

問 幼稚園・保育所・小学校へ導入されるが、中学校や他の施設への導入は、また、同報無線への接続は。

答 中学校や他の施設へも順次導入していく。同報無線への接続についても、今後検討していく。



袋井消防署



## 市政に対する一般質問

よりよいまちづくりをめざして

◎脳脊髄液減少症への  
周知、啓発を

問 認知度が低いため、正しい知識を持った職員による相談体制が必要ではないか。医療機関の診療、治療体制は、学校教育現場での対応と啓発の具体的な取り組みは。

答 現在保健センターの各相談窓口で対応しており、今後、この病気にに対し保健師・職員が知識と理解を深める習得訓練をしていく。袋井市民病院は、脳神経外科を診療科として難病医療協力病院に選定されており、脳脊髄MRI検査により診断可能である。教職員の本疾患に対する認識を深め、校長会や養護教諭会等で、さらなる周知を図り、適切な対応がとれるよう、計画的に指導をしていきたい。

◎女性特有のがん検診の  
経過は

問 無料クーポン配布での初めての検診結果は。

答 子宮がんでは、19.9%、乳がんでは、21.0%の受診率であった。特に子宮がん検診においては、250人から450人となり、率として72%の増加となっている。



袋井市民病院